

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【公開番号】特開2021-6329(P2021-6329A)
 【公開日】令和3年1月21日(2021.1.21)
 【年通号数】公開・登録公報2021-003
 【出願番号】特願2020-178796(P2020-178796)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
設定値の設定を許可するための設定許可状態に制御可能な設定許可制御手段と、
前記設定許可状態に制御されたことを特定可能な特定情報を記憶する特定情報記憶手段
と、

特定信号を遊技機の外部に出力可能な外部出力手段と、
前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認
制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
可変表示が停止した後から次の可変表示が開始されるまでの可変表示停止期間を計時す
る停止期間計時手段と、を備え、

前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が
実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された
後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

前記可変表示停止期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
が終了するまで前記可変表示停止期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき
に前記可変表示停止期間の計時が再開され、

前記設定許可状態の制御が終了したことに基づいて前記特定情報記憶手段に記憶された
前記特定情報が消去され、

前記特定情報記憶手段は、前記設定許可状態の制御が終了することなく遊技機への電力
供給が停止された場合に前記特定情報を記憶可能であり、

遊技機への電力供給が再開したときに、前記特定情報記憶手段に前記特定情報が記憶さ
れていることに基づいてエラー報知を実行可能なエラー報知手段を備え、

前記エラー報知手段は、遊技機への電力供給が再開したときに、前記特定情報記憶手段

に前記特定情報が記憶されている場合であって前記設定許可状態に制御されなかった場合に前記エラー報知を実行可能であり、

遊技機への電力供給が再開したときに、前記特定情報記憶手段に前記特定情報が記憶されている場合であって前記設定許可状態に制御された場合に前記エラー報知を実行せず、前記外部出力手段は、前記エラー報知が実行されているときに前記特定信号を出力可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、複数の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、設定値を確認するための設定確認処理では、実行中のメイン処理が全て終了したときにしか次の処理へ移行できなかった（例えば、特許文献1参照）

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1にあっては、設定確認をすぐに行いたい状況のときに、実行中の全ての処理が終わるまで待たねばならず、好適に設定確認作業を実行できないという問題がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、好適に設定確認作業を実行することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

設定値の設定を許可するための設定許可状態に制御可能な設定許可制御手段と、

前記設定許可状態に制御されたことを特定可能な特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、

特定信号を遊技機の外部に出力可能な外部出力手段と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
可変表示が停止した後から次の可変表示が開始されるまでの可変表示停止期間を計時する停止期間計時手段と、を備え、
前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
前記可変表示停止期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記可変表示停止期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記可変表示停止期間の計時が再開され、
前記設定許可状態の制御が終了したことに基づいて前記特定情報記憶手段に記憶された前記特定情報が消去され、
前記特定情報記憶手段は、前記設定許可状態の制御が終了することなく遊技機への電力供給が停止された場合に前記特定情報を記憶可能であり、
遊技機への電力供給が再開したときに、前記特定情報記憶手段に前記特定情報が記憶されていることに基づいてエラー報知を実行可能なエラー報知手段を備え、
前記エラー報知手段は、遊技機への電力供給が再開したときに、前記特定情報記憶手段に前記特定情報が記憶されている場合であって前記設定許可状態に制御されなかった場合に前記エラー報知を実行可能であり、
遊技機への電力供給が再開したときに、前記特定情報記憶手段に前記特定情報が記憶されている場合であって前記設定許可状態に制御された場合に前記エラー報知を実行せず、
前記外部出力手段は、前記エラー報知が実行されているときに前記特定信号を出力可能である、ことを特徴とする。

(1) 始動領域(例えば、第1始動入賞口、第2始動入賞口)に遊技媒体(例えば、遊技球)が進入したことに基づいて可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態)に制御可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、
遊技を進行可能な遊技制御手段(例えば、CPU103)と、
前記遊技制御手段からの情報(例えば、演出制御コマンド)に基づいて、演出を制御可能な演出制御手段(例えば、演出制御用CPU120)と、
遊技者にとって有利度が異なる複数段階の設定値のうちいずれかの設定値(例えば、設定値1~6)に設定可能な設定手段(例えば、CPU103)と、
所定条件の成立(例えば、設定変更操作が実行されること)に基づいて、設定値の変更が可能な設定変更状態に制御可能な設定変更手段(例えば、CPU103が設定変値変更処理を実行する部分)とを備え、
前記遊技制御手段は、前記始動領域に遊技媒体が進入したときに先読み情報(例えば、図柄指定コマンド、変動種別コマンド)を前記演出制御手段(例えば、演出制御用CPU120)に送信可能であり、
前記演出制御手段は、前記先読み情報に基づく動作(例えば、入賞時フラッシュ、入賞時保留変化)を所定の演出手段(例えば、入賞時ランプ、画像表示装置5)に実行させることが可能であり、
前記所定の演出手段は、前記設定変更状態に制御されているときに、前記先読み情報に基づく動作を実行しない(例えば、図10-3に示すように、演出制御用CPU120は、設定変更状態に制御されているときに、図柄指定コマンド、変動種別コマンドを破棄するため、当該図柄指定コマンド、変動種別コマンドの受信に基づく制御を実行しない)。